

款	消防費	項	消防費
施策名	常備消防車両更新事業 ・ 非常備消防車両更新事業		
施策体系名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
決算額	125,864千円	財源内訳	国県支出金等 113,200千円 一般財源 12,364千円

【施策の概要】

- ◎常備用救助工作車（Ⅱ型）購入
- ◎常備用資機材搬送車購入
- ◎非常備用可搬ポンプ積載車2台購入

(単位：千円)

区分	事業費	概要
常備用 救助工作車 (Ⅱ型)	107,100	[土浦消防署配置] 平成4年度配置救助工作車の更新
常備用 資機材搬送車	7,844	[土浦消防署配置] 昭和61年度配置資機材搬送車の更新
非常備用 可搬ポンプ積載車	10,920	[第35分団・第46分団配置] 昭和62年度(35分団)平成元年度(46分団)可搬ポンプ積載車の更新
合計	125,864	



常備用救助工作車



常備用資機材搬送車



非常備用可搬ポンプ積載車[第35分団]



非常備用可搬ポンプ積載車[第46分団]

【施策の成果】

車両の計画的な更新整備に基づき，常備消防用車両2台及び非常備用車両2台を購入し，消防力の基幹である消防車両の活動能力の向上を図ることで，市民生活の安心・安全に寄与しました。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

施策名	消防団車庫整備事業		
施策体系名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
決算額	12,220千円	財源内訳	国県支出金等 10,100千円 一般財源 2,120千円

【施策の概要】

◎老朽化した消防団（第40分団）詰所及び車庫の新設及び解体

(単位：千円)

区分	事業費	概要
新築工事費	11,225	田宮597-1 軽量鉄骨造2階建・63.82㎡
解体工事費	994	田宮613-3 昭和40年築 ブロック造2階建・38.6㎡
保険料	1	建物共済保険
合計	12,220	



40 分 団 車 庫

【施策の成果】

消防団の防災活動拠点である消防団車庫の整備を図ることにより，消防団の活性化と消防団員の士気高揚を図りました。

款	教育費	項	教育総務費
施策名	学校インターネット高速化事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	3,056千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 3,056千円

【施策の概要】

◎目的

学校のインターネットを高速にすることにより、興味のある学習分野を広げていくことを目指します。

◎事業の内容

- 土浦地区小・中学校のインターネット回線高速化  
土浦地区（小学校17校，中学校7校）のインターネット回線を8Mタイプから160Mタイプに契約を変更しました。
- 藤沢・山ノ荘小学校，新治中学校のインターネット回線高速化  
藤沢・山ノ荘小学校，新治中学校のインターネット回線をADSL回線から160Mタイプに契約を変更しました。
- 上大津西小学校校内LAN工事  
上大津西小学校の一部回線が10Mであったのを1000M対応のLAN回線に変更し，インターネット回線の高速化に対応しました。



ICTを活用した授業風景

【施策の成果】

高速のインターネット環境を整備することにより，各小中学校における情報通信の速度がこれまで以上に高速になりました。児童・生徒達は興味ある学習分野の情報を自主的に取得することが容易となり，興味ある学習分野をさらに広げていくものと考えられます。

款	教育費	項	教育総務費
施策名	こどもを守る安全対策事業		
施策体系名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
決算額	975千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 975千円

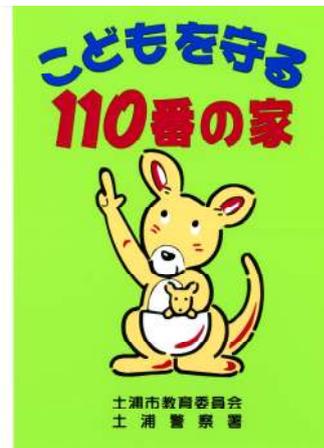
【施策の概要】

○ 内容

- 警察官OB等をスクールガード・リーダーとして委嘱し，小学校の下校時を中心に，青色パトロール車で防犯パトロール活動を実施しています。
  - スクールガード・リーダー2名が，交通安全啓発や不審者対策等を目的に，年間195日間(原則として全ての登校日)パトロール活動を実施しました。
  - 危険箇所を把握するとともに，交通事故や不審者出没の情報を，市教育委員会，学校，スクールガード・リーダーが共有することにより，状況に応じた適切な対応が図られました。
- 各小学校を通して，市内各学区の家庭や事業者には「こどもを守る110番の家」ステッカーを配付しました。
  - 平成22年度は，全小学校区合計で3,000余りの家庭等が「こどもを守る110番の家」として登録されています。
  - 小学校ごとの登録件数は学校の規模によって異なりますが，多い学校では500を超える登録があります。



スクールガード・リーダーの活動風景



こどもを守る110番の家

【施策の成果】

- 日常的に青色パトロール車で防犯パトロールを行うことや，「こどもを守る110番の家」を表示することで，児童生徒や地域の防犯意識の向上と犯罪の抑止に貢献することができました。
- 地域への啓発活動を実施することにより，地域全体で協力して子どもの安全を守ろうとする意識の高揚につながりました。

款	教育費	項	教育総務費
施策名	発達障害・特別支援教育推進事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	1,903千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 1,903千円

**【施策の概要】**

教育上特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して一貫した支援を行うための支援体制の整備を進めました。

1 連携協議会の開催（年2回）

保健，福祉，教育等の関係機関が連携して，発達障害を含む障害のある子どもたちに一貫した支援を行うための方策等を協議するために，連携協議会を設置し，会議を開催しました。

2 相談支援ファイルの作成と活用

子どもの支援に関する情報を共有するための「相談支援ファイルつちうら」の活用をすすめました。



相談支援ファイルつちうら

3 巡回相談の実施

発達障害を含む障害に関する専門的知識・経験を有する相談員が学校・園等を巡回し，幼児・児童・生徒への支援のあり方について助言等を行う巡回相談を行いました。

○計画巡回相談（平成22年度 年間2回×28校）

市内小中学校28校を巡回し，授業参観，担任等との懇談を行いました。

○要請巡回相談

要請のあった学校を訪問し，児童生徒の支援方法等について相談し合いました。

4 教員研修会の開催

特別支援教育に関する見識を高めるために，教職員対象の研修会を行いました。



第2回教員研修会「児童生徒の理解と支援のあり方」

5 学生支援員の派遣

教員志望の大学生を学校等に派遣し，児童生徒への学習・生活支援の充実を図りました。

**【施策の成果】**

連携協議会を設置，開催することにより，市の関係部局（保健・福祉・教育）の代表者が課題を共有し，連携を強めることができました。

巡回相談や教員研修を行うことにより，担任や新任特別支援学級担当者及びコーディネーターに対して担当者の抱える悩みや校内支援体制の課題に対する助言ができました。

相談支援ファイルの活用により，小中学校における個別の教育支援計画の策定率が上昇しました。

款	教育費	項	教育総務費
施策名	学力向上対策事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	6,581千円	財源内訳	国県支出金等 681千円 一般財源 5,900千円

【施策の概要】

1 目的

- (1) 夏季休業中に小学校4～6年生が行う算数の補習問題を製本し配付します。また、サポーターを配置することで、学習の効率・効果を上げます。
- (2) 小学校3～6年生に学力調査を実施することにより、教師や児童の課題を明確にし、指導方法の改善や児童一人一人の補充学習の充実を図り児童の学力の向上を図ります。

2 内容

- (1) 夏季休業中の補習授業「学びの広場（小学4年）」と「学びの教室（小学5，6年）」で使用する算数の問題を一人一人に配付しました。また、「学びの広場」においては、小学4年生全クラスにサポーターを派遣し、教職員と共に児童の学習を支援しました。
- (2) 小学校3～6年生を対象に、学力調査を12月に実施し、積極的な補充学習に取り組みました。



学びの広場でのサポーターによる学習支援の風景

【施策の成果】

- 製本された教材の使用により、児童一人一人が効率よく学習に取り組むことができました。
- サポーターの支援により、個別の指導が受けやすくなり、計算の基礎の定着につながりました。
- 学力調査の実施により、児童の学習状況が明確になり、課題解決の指導体制や学習状況の改善に役立てることができました。また、学習内容の定着に今まで以上に取り組むことができ、教師の指導法の改善に役立てることができました。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

施策名	環境教育推進事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	588千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 588千円

【施策の概要】

市内の太陽光パネル設置校において、エネルギーの大切さ、環境の大切さを体感しながら環境を学ぶ学習活動を推進することにより、主体的に環境保全活動に取り組む児童生徒を育てていきます。

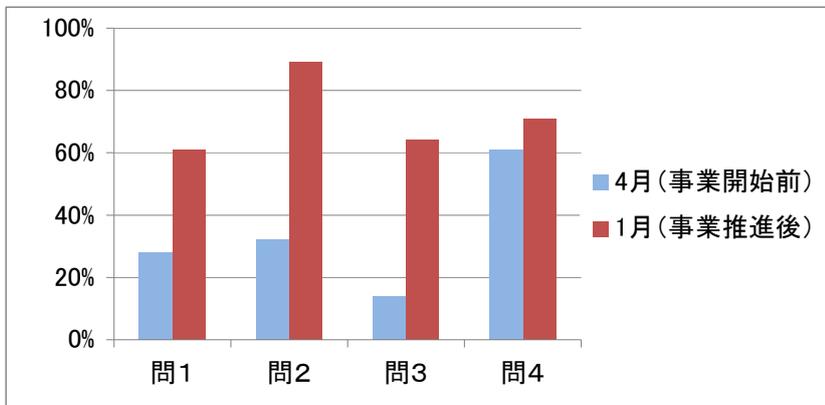
- 土浦市内小中学校における太陽光パネル設置校（平成22年度 計8校）  
 平成16年度 真鍋小学校  
 平成22年度 大岩田小学校、乙戸小学校、菅谷小学校、都和南小学校  
 土浦第六中学校、都和中学校、新治中学校

- 専門家等による環境保全に関する出前事業の実施
  - ・環境学習会の開催
  - ・エコクッキング教室の実施
  - ・太陽光発電の仕組みについて学ぶ学習会の開催



真鍋小学校 環境学習会の様子

- 総合的な学習の時間や理科、特別活動等での環境教育の推進
  - ・グリーンカーテンの作成（児童会・生徒会・委員会活動等）
  - ・リサイクル運動の推進（エコキャップ回収）
  - ・節電、省エネルギーの呼びかけと実践



都和中学校グリーンカーテン

[児童生徒の環境に関する行動の変容]

	問1	問2	問3	問4
	教室を出る時には電気を消すようにする	水の無駄使いをしないように心がける	紙のリサイクル（再利用）をすすめる	家庭でも省エネ・省資源に心がける
4月（事業開始前）	28%	32%	14%	61%
1月（事業推進後）	61%	89%	64%	71%

（数字%は全体に占める割合）

【施策の成果】

太陽光発電システム設置校を対象に、地元企業・環境保全課等の協力を得て、環境学習会、エコクッキング教室等、省エネルギー・省資源に関する学習活動をすすめることにより、学校はもとより、家庭においても環境保全活動に取り組む児童生徒の割合が増加しました。

款	教育費	項	教育総務費			
施策名	学校活性化TT特別配置事業					
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
決算額	2,660千円	財源内訳	国県支出金等	1,374千円	一般財源	1,286千円

### 【施策の概要】

#### 〔目的〕

小規模校がかかえる課題への対応や、教育活動の活性化を図るために、TT非常勤講師を配置することにより、学校の活性化に向けた積極的な取り組みの支援をします。

TT（ティームティーチング）とは、

主要教科（国語・数学・社会・理科・英語）の教職員を中心に、2人以上の教職員が協力・連携して、授業時間割などを工夫し、ひとつの学年又は学級の学習指導にあたる方法。

あるいは、児童生徒の学習習熟度にあわせて、学級担任とほかの教職員が共に児童生徒の指導を行う授業の形態。

本市においては、後者の形態で活用しています。

#### 〔内容〕

学校活性化TT講師2名を小学校2校に配置しました。

##### 1 都和南小学校

TTによる指導教科：算数，社会

- TTで学習を進めることにより、「誰が・どこを・どのようにつまづいているか」など、児童の学習状況を把握し、個に応じた指導を充実させることができました。
- 教員2名が授業にあたることにより、学習の指導だけでなく、授業中の私語や忘れ物等の学習態度への指導も、よりきめ細やかに行うことができました。

##### 2 山ノ荘小学校

TTによる児童教科：算数，音楽

- 学習の習熟度に合わせて指導が可能になり、児童一人一人の苦手を克服することができるようになりました。その結果、授業への興味関心が増し、話を聞く態度にも良い変化が見られました。

### 【施策の成果】

TTの非常勤講師を配置したことにより、児童一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導を充実させることができました。

算数の授業にTTによる指導を活用したことにより、四則計算等、基礎・基本の定着が図られ、児童の学習への意欲が高まりました。

款	教育費	項	小学校費
施策名	理科支援員等配置事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	1,787千円	財源内訳	国県支出金等 119千円 一般財源 1,668千円

【施策の概要】

1 目的

理科に関する専門的な知識や技能等を持つ人材を、小学校5、6年生の理科の授業に活用することで、理科授業の観察・実験活動の充実及び教員の資質向上を図る。

2 活用の状況

- (1) 前年度配置できなかった小学校10校に1名ずつの理科支援員を配置しました。
- (2) 理科支援員の配置されない学校には、特別講師を派遣し、授業の中で、児童の興味関心を喚起する実験や観察を行いました。
- (3) 観察・実験等の計画立案の支援、教材開発の支援を行いました。
- (4) 授業をスムーズに進めることができるよう、実験準備や片付けの支援を行いました。
- (5) 理科支援員が中心になり、観察・実験方法や授業の進め方について随時研修を行いました。



実験の補助を行う理科支援員

【施策の成果】

- 児童の理科に対する興味関心を高めることができ、理科を学ぶことの意義を実感できました。
- 児童が、実験や観察の基礎的知識や技能を習得するうえで効果がありました。
- 教師の理科指導力の向上につながり、実験が意欲的に計画されるようになりました。

款	教育費	項	小・中学校費			
施策名	小中学校いばらき木づかい環境整備事業（木製品導入支援事業）					
施策体系名	人と環境にやさしい循環型社会づくり					
決算額	1,617千円	財源内訳	国県支出金等	1,132千円	一般財源	485千円

【施策の概要】

小・中学校で児童・生徒が使用している古くなった学習機のうち、脚がしっかりしている机については、新品に交換するのではなく、天板のみを県内の間伐材を使用したものに交換して、資源の有効活用を図りました。

小学校 140台      中学校 80台      合計220台



県内の間伐材を活用した机（荒川沖小）



天板の木目がきれいだと喜ぶ児童（荒川沖小）

【施策の成果】

学習機の天板を県内の間伐材を活用したものに交換して引き続き使用することにより、資源の有効活用と地球温暖化対策の一助となりました。

款	教育費	項	小・中学校費
施策名	太陽光発電設備設置事業		
施策体系名	人と環境にやさしい循環型社会づくり		
決算額	113,616千円	財源内訳	国県支出金等 92,564千円 一般財源 21,052千円

【施策の概要】

児童・生徒への環境教育の一環として、また、地球温暖化対策の取組の一環として、学校施設への太陽光パネル設置を推進します。

平成22年度は、小学校4校と中学校3校の校舎の屋上に太陽光電池パネルを設置し、昇降口等には発電量等を表示するパネルを設置をしました。

○平成22年度に太陽光発電設備を設置した学校

(小学校)

- ・ 都和南小学校
- ・ 乙戸小学校
- ・ 菅谷小学校
- ・ 大岩田小学校

(中学校)

- ・ 土浦第六中学校
- ・ 都和中学校
- ・ 新治中学校



太陽光電池パネル



発電表示パネル

【施策の成果】

太陽光発電設備を設置したことにより、児童・生徒は環境への意識が高まり、太陽光発電の仕組みや効果を体感することができました。

また、CO2の削減や電力需要の節約により、地球温暖化防止に寄与することができました。

款	教育費	項	小学校費
施策名	土浦小学校校舎及び屋内運動場改築事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	14,230千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 14,230千円

**【施策の概要】**

- 土浦小学校校舎及び屋内運動場改築検討委員会の開催
- 土浦小学校校舎及び屋内運動場改築基本設計の実施

教育環境の改善を推し進めるため、老朽化が著しい校舎及び屋内運動場の改築の計画を進めているところです。平成22年度は、土浦小学校校舎及び屋内運動場改築検討委員会からの施設設備及び景観の整備に係る提言を受け、その提言を反映させながら、基本設計を実施しました。



外観パース（基本設計）



内観パース（基本設計）



改築検討委員会の様子

**【施策の成果】**

改築検討委員会を4回開催し、提言を受けました。その提言を反映しながら、土浦小学校校舎及び屋内運動場改築の基本設計を実施し、今後の改築事業に向けて、具体的な方向性が示されました。

款	教育費	項	小・中学校費
---	-----	---	--------

施策名	学校施設耐震化事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	615,093千円	財源内訳	国県支出金等 490,385千円 一般財源 124,708千円

【施策の概要】

○耐震補強及び大規模改造実施設計

学校名	建物区分	構造	階数(階)	延床面積(m <sup>2</sup> )
中村小学校	校舎	R C	3	3,915
東小学校	校舎	R C	3	2,496
真鍋小学校	校舎・体育館	R C	3	1,932
土浦第一中学校	校舎	R C	4	5,201
土浦第三中学校	校舎	R C	4	4,040

○耐震補強及び大規模改造工事

学校名	建物区分	構造	階数(階)	延床面積(m <sup>2</sup> )
大岩田小学校	校舎	R C	3	4,608

※R C：鉄筋コンクリート造

学校施設は、児童生徒の安全確保を図るとともに、非常災害時には、地域住民の避難所としての役割を果たすことから、校舎等の建物の耐震・耐久性の確保、安全性の維持などの防災機能の強化を図る必要があります。

平成22年度は、小学校3校と中学校2校の校舎の耐震補強工事の実実施設計を行うとともに、地域住民の避難場所となる小学校1校の耐震補強工事を実施しました。

耐震補強及び大規模改造工事



大岩田小学校校舎外観



大岩田小学校校舎内観

【施策の成果】

大岩田小学校の校舎5棟の耐震補強及び大規模改造工事を実施したことにより、耐震性の確保や教育環境の向上が図られました。

款	教育費	項	小学校費
施策名	上大津東小学校校舎増築事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	75,687千円	財源内訳	国県支出金等 30,496千円 一般財源 45,191千円

**【施策の概要】**

○上大津東小学校校舎増築工事の実施

上大津東小学校では、児童数の増加により普通教室が不足したため、平成22年度に4つの普通教室の増築工事を実施しました。



校舎外観



普通教室

**【施策の成果】**

増築工事を実施したことにより、教室不足が解消され、学習環境の向上が図られました。

款	教育費	項	中学校費
---	-----	---	------

施策名	宿泊体験学習事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	15,789千円	財源内訳	国県支出金等 5,808千円 一般財源 9,981千円

【施策の概要】

- 内容
  - ・ 中学校1年生を対象に、4泊5日の宿泊体験学習を実施しています。  
 宿泊先：茨城県立中央青年の家
  - ・ 1日の生活は、学校生活を基本とします。  
 青年の家等での活動は各学校で計画します。



青年の家での活動風景

- 参加人数： 1,274人
- 各学校の実施期日と主な体験内容

中学校名	実施期日	主な体験内容
土浦一中	平成23年 1月24日（月） ～ 1月28日（金）	筑波山登山・野外炊飯・学習会・落語鑑賞・奉仕作業・歩く会
土浦二中	平成22年11月22日（月） ～11月26日（金）	星座観察・野外炊飯・レクレーション・学習会・茨城空港見学・笠間焼体験・絵手紙体験・芸術鑑賞教室・奉仕作業
土浦三中	平成22年11月29日（月） ～12月 3日（金）	学習会・笠間焼体験・オリエンテーリング・スポーツ大会・創作活動・野外炊飯
土浦四中	平成23年 1月17日（月） ～ 1月21日（金）	学習会・野外炊飯・スポーツ大会・笠間焼体験・ハイキング・キャンドルサービス・奉仕作業
土浦五中	平成22年12月 6日（月） ～12月10日（金）	学習会・歩く会・絵手紙体験・飯ごう炊さん・総合的な学習の時間における成果発表会・レクレーション
土浦六中	平成22年11月 8日（月） ～11月12日（金）	学習会・落語鑑賞・環境教育出前授業・オリエンテーリング・奉仕作業・飯ごう炊さん
都和中	平成22年11月15日（月） ～11月19日（金）	歩く会・学校寄席・ミュージアムパークでの学習会・星座観察・野外炊飯・ALTとの学習会・笠間焼体験・キャンドルサービス
新治中	平成22年11月 1日（月） ～11月 5日（金）	学習会・星座観察・そば打ち体験・ハイキング・ミュージアムパーク

生徒対象アンケート結果

No.	ねらい	質問内容	H22 (%)
1	関心・意欲・態度	宿泊体験学習は楽しかったか。	86.1
2	自主性	積極的に参加したと思うか。	89.0
3	協調性・コミュニケーション能力	いろいろな人と楽しくふれあえたと思うか。	90.9
4	責任感	責任をもって活動したと思うか。	86.8
5	忍耐力	嫌なことなどを我慢し、粘り強く取り組めたか。	87.0
6	協力・思いやり	思いやりをもち、友だちと協力できたか。	93.7
7	社会性・思いやり	友だちとの信頼関係を深められたと思うか。	89.4
8	社会性	先生との信頼関係を深められたと思うか。	65.2
平均			86.0

※4段階評価で4または3と答えた生徒の割合

【施策の成果】

- ・ 4泊5日の集団生活・集団体験を通して、規範意識や協調性、我慢する心、思いやりの心、コミュニケーション能力など社会人としての基礎的な資質をはぐくむ一端を担うことができました。
- ・ 1年間かけて上記の力をはぐくむ上で、土台となる共通体験として本事業を位置づけることができました。

款	教育費	項	中学校費
施策名	新治中学校柔剣道場棟新築事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	179,370千円	財源内訳	国県支出金等 105,385千円 一般財源 73,985千円

【施策の概要】

○新治中学校柔剣道場新築工事の実施

新治中学校には、従来、学校施設としての柔剣道場がなく、隣接の昭和51年建設の老朽化した社会体育施設を利用している状況でした。

平成24年度からの武道必修化や部活動での利用など、教育環境の向上を図るため、柔剣道場の新築工事を実施しました。



外観



内部（柔道場）



内部（剣道場）

【施策の成果】

新築工事を実施したことにより、教育環境の向上が図られました。

款	教育費	項	幼稚園費
施策名	幼稚園芝生化事業		
施策体系名	人と環境にやさしい循環型社会づくり		
決算額	2,079千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 2,079千円

【施策の概要】

幼稚園園庭の芝生化

- ・ 第二幼稚園 870㎡
- ・ 大岩田幼稚園 670㎡
- ・ 新治幼稚園 960㎡

園庭の芝生化を実施するにあたり、園児や保護者・職員により植付等を行うことで、緑化の充実やヒートアイランドの緩和に寄与するとともに、子供たちのより良い環境教育の整備を行いました。



植付



第二幼稚園園庭



遊戯中



寝転がり

【施策の成果】

- ・ 園庭一面が緑になり、保育する上での環境が良くなりました。
- ・ 土の園庭のときよりも園庭で遊ぶ園児が増えました。
- ・ 寝転んだり、裸足で遊んだり活動への意欲が向上しました。
- ・ 擦り傷などの怪我が減少しました。
- ・ 水溜りがなくなり、雨の翌日に整地する必要がなくなりました。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

施策名	生涯学習推進計画策定事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	2,103千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 2,103千円

【施策の概要】

「第2次土浦市生涯学習推進計画」の総合的な評価と本市の生涯学習に関する現況把握と課題整理を行い、改正教育基本法の趣旨や現在の社会情勢の変化も踏まえたうえで、生涯学習推進協議会における協議やパブリック・コメントの手続きを経て、本市の生涯学習推進の指針となる「第3次土浦市生涯学習推進計画」を策定しました。

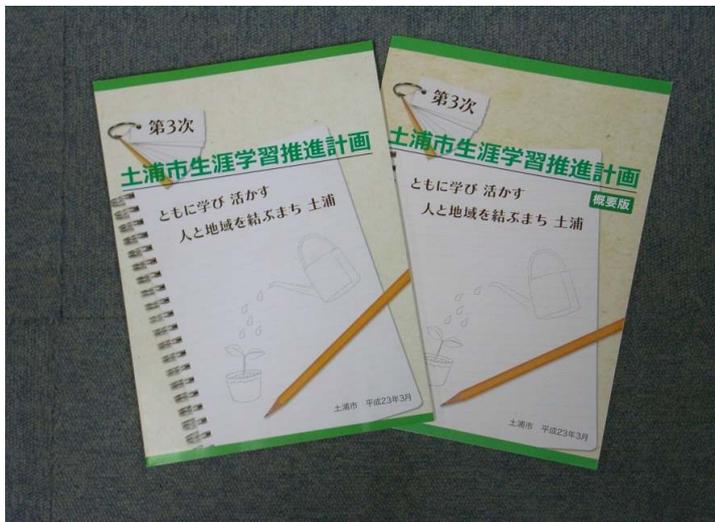
「第3次土浦市生涯学習推進計画」は、基本理念を「ともに学び 活かす 人と地域を結ぶまち 土浦」とし、「学ぶ ～学ぶための環境づくり～」 「つながる ～人や地域のネットワークづくり～」 「活かす ～学習成果を活かす仕組みづくり」という3つの基本目標を掲げています。

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
生涯学習推進協議会委員謝礼等	381	
委託料	1,722	生涯学習推進計画策定委託

[策定経過]

- ・ 生涯学習推進本部幹事会，生涯学習推進本部，生涯学習推進協議会をそれぞれ年間4回開催
- ・ 「生涯学習活動に関する実態調査」の実施（平成21年度）
- ・ 庁内関係各課の意見聴取
- ・ 関係団体の意見聴取
- ・ 第2次土浦市生涯学習推進計画の総括
- ・ 第3次土浦市生涯学習推進計画骨子案の検討
- ・ 第3次土浦市生涯学習推進計画素案の検討
- ・ パブリック・コメント手続きの実施
- ・ 第3次土浦市生涯学習推進計画の策定



計画書及び概要版

【施策の成果】

平成23年度から平成27年度までの生涯学習推進のための計画を策定しました。今後、1年間をPDCAの一つのサイクルとして、5年後に計画全体の見直しを図ります。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

施策名	指定文化財回復・修復事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	10,472千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 10,472千円

【施策の概要】

貴重な文化財を次世代に残していくために、県・市指定の文化財を回復・修復するための事業を実施しました。

(単位：千円)

事業名	事業概要	事業費
「真鍋のサクラ」樹勢回復業務委託料	土壌改良，枯枝・不要枝の剪定	4,935
「富岡家住宅」修理費補助金	東，西，北側茅葺屋根葺き替え	2,734
「大聖寺四脚門」修理費補助金	茅葺屋根葺き替え	1,817
「関流大筒」修理費補助金	大筒の点検修理	100
「土浦城櫓門の太鼓」修復事業費補助金	太鼓の張替，漆の塗り替え	645
「稻荷山のベニヤマザクラ」剪定等事業費補助金	危険な枝の切除，不要枝の剪定	241



「真鍋のサクラ」樹勢回復



「富岡家住宅」屋根葺替



「大聖寺四脚門」屋根葺替



「関流大筒」点検修理



「土浦城櫓門の太鼓」修理



「稻荷山のベニヤマザクラ」剪定

【施策の成果】

「真鍋のサクラ」は、樹勢回復事業により平成23年4月に元気な花を咲かせました。「富岡家住宅」「大聖寺四脚門」は茅葺屋根の葺き替えを行い、また、「関流大筒」は銃身や金具の修理、「土浦城櫓門の太鼓」は漆の塗り替えと太鼓の革を張り替えて、当時の美しい姿を取り戻しました。「稻荷山のベニヤマザクラ」は伸びた枝が落下の危険があるために剪定を行い、小中学生は安全に通学することができ、桜の木も樹勢を回復することができました。

これらの事業の実施により、土浦市の貴重な文化財の保護と延命化が図られ、継承されてきた姿を次世代に伝えることができました。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

施策名	生涯学習館事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	48,634千円	財源内訳	国県支出金等 1,144千円 一般財源 47,490千円

【施策の概要】

土浦・石岡地方社会教育センター一部事務組合が平成21年度末で解散となり、同施設が本市に移管され、土浦市生涯学習館として新たなスタートを切りました。

生涯学習館を、本市の新たな生涯学習施設として活用し、より一層の生涯学習の推進に努めるため、平成22年度は施設の一部改修・修繕を行い、利用者の利便性と安全性の向上を図りました。また、今後の修繕等の資料とするため耐震診断を実施しました。

管理については、指定管理者制度を導入し、維持費の節減に努めました。

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
受水槽改修工事	6,468	地下式の受水槽を地上式に改修
トイレ改修工事	893	和式を洋式に改修
空調機部品交換工事	1,102	空調機の修繕
非常用自家発電機交換工事	4,252	非常用自家発電機の交換
非常灯・誘導灯購入	2,300	非常灯及び誘導灯の更新
ルーフドレン配管工事	125	ルーフドレンの修繕
指定管理者指定管理料	29,745	指定管理料
耐震診断調査業務委託料	3,434	建物の耐震診断を実施
建物定期点検業務委託料	315	法定の定期点検の実施



受水槽



非常用自家発電機

[指定管理者]

土浦市産業文化事業団

[生涯学習館利用者数推移]

(単位：人)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
一般利用者他	1,369	1,420	5,156
講座受講者	11,554	9,365	3,482
同好会	30,075	31,287	28,157
計	42,998	42,072	36,795



誘導灯

【施策の成果】

医療機関や大学の協力を得て、特色ある講座を実施しました。

施設の利用に関して門戸を広げ、一般の方も利用できる施設とし、一般利用者が増加しました。

動作不良となっていた非常用自家発電機・非常灯を更新し、安全性が向上しました。

款	教育費	項	社会教育費
施策名	子ども読書活動推進計画策定事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	0千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 0千円

【施策の概要】

情報メディア・媒体の発達・普及や子どもに関わる生活・環境の変化により、子どもの活字離れが指摘されています。そこで、子どもの自主性を尊重しつつ、読書に親しみ、読書を通して心豊かな生活を送ることができるよう、環境の整備や施策の推進を図ることを目的とし、平成21～22年度で策定いたしました。計画策定により、図書館が中心となり、家庭、学校、地域が連携しながら、子どもの読書活動を推進し、総合的・計画的な施策の推進に努めるものです。

1 計画の位置づけ

子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項の規定に基づき、国が策定する「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」及び茨城県が策定する「いばらき子ども読書活動推進計画」を基本とし、本市における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ策定いたしました。

2 子どもの定義

法律第2条の規定との整合を図り、この計画において「子ども」とは、おおむね18歳以下の方とします。

3 計画の対象者

この計画の対象者には、概ね18歳以下の方のほか、その子どもの読書活動を支援する立場にある保護者をはじめ、本市内で勤務・活動される幼稚園、保育所、児童館、小・中学校の教職員、市民ボランティア、図書館職員等も含むものとします。

4 計画期間

計画の期間は、平成23年度～平成27年度までの5年間とします。

5 計画の基本的方針

- (1) 子どもが自主的な読書に親しむ機会の提供と読書環境の整備・充実
- (2) 家庭、地域、学校を通じた社会全体での取組の推進
- (3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及



土浦市子ども読書活動推進計画

【施策の成果】

子どもと読書という限定的な計画内容にあわせて、関係部署職員による策定委員会を設置し、予算規模を抑え策定に努めました。そのなかでも、子どもを含む2,500人へのアンケート調査を実施したことにより、計画に子どもや読書環境の形成に影響のある大人の意見の反映を図りました。家庭・地域・学校というそれぞれの場において、関係部署の取組が明確となったほか、数値目標を設定することで実効性のある計画づくりに努めました。

款	教育費	項	保健体育費
施策名	体育施設及び運動公園整備事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	55,240千円	財源内訳	国県支出金等 27,650千円 一般財源 27,590千円

【施策の概要】

〔川口運動公園整備事業〕

◎野球場管理棟外壁塗装及び観覧席手摺り塗装工事（きめ細かな臨時交付金事業）

- ・事業費：8,873千円
- ・管理棟外壁塗装：462㎡



- ・観覧席手摺り改修：295m



◎陸上競技場フィールド内芝張替え工事

- ・事業費：4,043千円
- ・面積：3,200㎡



◎庭球場（ハードコート）路面改修工事

- ・事業費：5,754千円
- ・面積：600㎡



〔市立武道館整備事業〕

◎エアコン設置及び電気設備工事（きめ細かな臨時交付金事業）

- ・事業費：20,664千円
- ・台数：8台（2F：4台，3F：4台）



◎南部地区市民運動広場整備事業

- ・事業費：8,516千円
- ・駐車場舗装：2,170㎡
- ・排水工事：108m



**〔霞ヶ浦総合公園相撲場整備事業〕**

- ◎相撲場天井張替え工事
- ・事業費：2,289千円
  - ・面積：104㎡



**〔新治トレーニングセンター整備事業〕**

- ◎卓球台購入
- ・事業費：3,102千円
  - ・台数：23台（うち車いす用2台）



**〔市民運動広場整備事業〕**

- ◎ダックアウト整備
- ・事業費：1,188千円
  - ・屋根：4基
  - ・ベンチ：48基



**〔木田余地区市民運動広場整備事業〕**

- ◎ダックアウト整備
- ・事業費：811千円
  - ・屋根：4基
  - ・ベンチ：24基



**【施策の成果】**

老朽化が著しい各体育施設の改修を実施することにより安全面及び景観面の向上を、また、各種備品の整備を実施することにより利便性の向上を図ることが出来ました。

款	教育費	項	保健体育費
施策名	かすみがうらマラソン大会補助事業		
施策体系名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	15,000千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 15,000千円

**【施策の概要】**

第20回記念かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会は、4月18日(日)に土浦市制施行70周年・かすみがうら市合併5周年記念として、土浦市川口運動公園陸上競技場をメイン会場・かすみがうら市歩崎公園を中間点(国際陸連公認コース・日本陸連公認コース)に、国内外の招待選手をはじめ、全国45都道府県から過去最高となる25,576人のエントリーをいただき盛大に開催いたしました。

今大会からスタート地点を土浦駅東口大通りに変更し、スタート地点の混雑を解消するとともに、より走りやすいコースに生まれ変わりました。また、前大会のデモンストレーションレースを経て、車いす部門を新設し、白熱したレースが繰り広げられました。さらに、モール505においては、まちなか元気市とのコラボ事業として、ランナーの憩いの場「ランナーズヴィレッジ」を新設し大変好評を得ました。そして、従来から交流のあるカンボジア・アンコールワット国際ハーフマラソンと姉妹レース締結を行い、相互大会の今後益々の発展と更なる友好関係を築きました。

本大会は、従来から「甦れ 霞ヶ浦 水はスポーツの源」をメインテーマに、水質浄化啓発用広告塔の設置や、ランロードクリーン作戦の展開、また応援船を運航し霞ヶ浦に直に触れ合う場を設けるなど、霞ヶ浦の水質浄化や環境問題に対する意識の啓発を図っています。

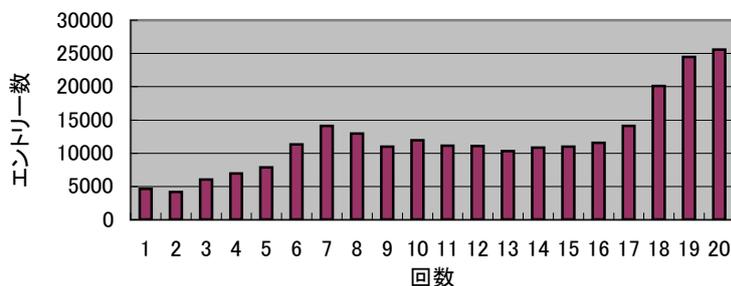
さらに「体験する福祉・ノーマライゼーションの実践」をテーマに「国際盲人マラソンかすみがうら大会」を世界初となる国際パラリンピック委員会(IPC)の公認大会として併催しました。

これからも視覚障害者と健常者との隔たりをなくしたスポーツ交流の場において、身近に福祉を体験することを実現するとともに、盲導犬育成事業を展開するなど福祉への意識の高揚を図ってまいります。

第20回大会エントリー数 (単位：人)

	マラソン	国際盲人	車いす	ウオーク	総数
フルマラソン	16,047	68	11		16,126
10マイル	7,024	54			7,078
5キロ	1,976	27			2,003
総数	25,047	149	11	369	25,576

参加者数の推移



**【施策の成果】**

国内ビッグ3に例えられるマンモス大会に成長した本大会は、約4,000名に及ぶ地域ボランティア、企業ボランティア、そして協力団体の皆さまのご支援とご協力により、市内最大のスポーツイベントとして、今後更なる充実と発展が期待されています。

また、スタート地点の変更により、安全な大会運営を図るとともに、ランナーズヴィレッジの開催により中心市街地の活性化に寄与しました。

款	災害復旧費	項	
施策名	東日本大震災に係る災害復旧事業		
施策体系名			
決算額	301,686千円	財源内訳	国県支出金等 2,036千円 一般財源 299,650千円

【施策の概要】

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震に端を発する東日本大震災によって、本市も多大な被害を受けました。  
 市では、震災発生直後に災害対策本部を設置し、迅速な災害救助に努めました。  
 また、災害復旧事業を実施し公共施設等の早期復旧を図っています。災害復旧事業の多くは平成23年度に繰越して引き続き実施しています。

○災害救助等に係る対応

	内容
災害対策本部の設置	
避難所設置	3月11日～3月25日 22箇所 延べ3,302人
福島県からの避難者受け入れ	3月15日～4月10日 水郷体育館 延べ4,872人
各中学校等での給水活動	3月12日～3月14日（以降公民館等の外蛇口の開放） 16箇所
被災者用備品等の配布	水・食糧・毛布・ブルーシート等
ライフラインの復旧	上水道・道路等
市民相談窓口の設置	3月18日～4月28日
広報活動	災害復旧状況・被災者に対する見舞金制度等
瓦・ブロック塀・石塀の処分	処分量 5,200トン
被災建築物等応急危険度判定	被災建築物・被災宅地等
緊急消防援助隊	福島県福島市
被災地への支援	給水車貸出（神栖市） 支援物資輸送（宮城県石巻市・福島県相馬市）

○災害救助・災害復旧に係る経費

（単位：千円）

		予算額	決算額	繰越額	主な内容
一般会計	災害救助等に係る経費	9,261	8,963	0	避難所設置に係る経費等
	総務関係災害復旧費	113,030	52,129	60,805	職員手当・瓦礫処分委託
	厚生関係災害復旧費	14,941	3,516	11,384	福祉施設復旧工事
	産業関係災害復旧費	36,508	11,252	25,253	観光施設復旧工事 農道・ため池等復旧工事
	土木関係災害復旧費	115,755	101,996	7,510	道路復旧工事 公園等復旧工事
	文教関係災害復旧費	99,365	26,956	72,150	学校施設復旧工事 社会教育施設復旧工事 体育施設復旧工事
	特別会計への繰出金	76,239	76,239	0	
	小計	455,838	272,088	177,102	
一般会計 合計	465,099	281,051	177,102		
特別会計	駐車場事業	1,000	998	0	施設修繕
	下水道事業	70,000	69,928	0	管渠清掃・下水道復旧工事
	公設地方卸売市場事業	1,669	1,667	0	施設修繕
	農業集落排水事業	3,570	0	3,570	施設修繕
	水道事業	24,281	24,281	0	漏水修繕・非常用飲料水袋
合計（繰出金除く）	489,380	301,686	180,672		